

環境調査結果のお知らせ

令和2年4月24日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は14.3~17.9℃で、前回調査時(R2.3.13)と比較して全層で0.3~0.9℃上昇しました。塩分は16.2~32.7で、前回調査時と比較して表層から1m層で1.6~3.4下降し、2m層から底層で0.9~1.6上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.8~9.4mg/Lで、前回調査時と比較して表層で0.2mg/L増加し、1m層から底層で0.4~1.2mg/L減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.2mでした。  
 検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で30cells/mL確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.3.13)	
			差(今回-前回)
0m	14.3	14.0	0.3
1m	16.9	16.1	0.8
2m	17.9	17.0	0.9
B-1	17.7	17.0	0.7

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.3.13)	
			差(今回-前回)
0m	16.2	19.6	▲ 3.4
1m	23.4	25.0	▲ 1.6
2m	32.3	30.7	1.6
B-1	32.7	31.8	0.9

表3 溶存酸素量(mg/L)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.3.13)	
			差(今回-前回)
0m	9.4	9.2	0.2
1m	8.4	8.8	▲ 0.4
2m	7.5	8.7	▲ 1.2
B-1	6.8	7.7	▲ 0.9

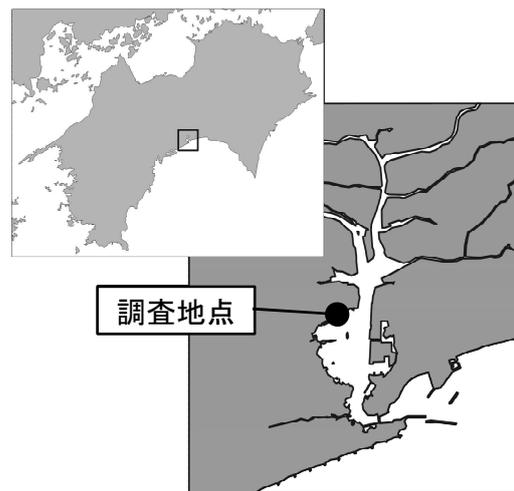


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.3	3.6
透明度	2.2	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
0	3	40
1	20	140
2	30	200

**漁業被害が想定される細胞密度**

・ヘテロシグマ・アカシオ:  
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>